

---

# 当院の災害に対する取り組み

挽野慎之介、高橋さくら、庄司裕太、柏谷奈津希、高島俊介、幸坂神次、平塚広樹、  
村上 亨、佐々木 亘、伊藤隆一\*、原田 忠\*、宮形 滋\*  
社会医療法人明和会 中通総合病院 血液浄化療法部、同 泌尿器科\*

## Reassessment of disaster prevention system in our hospital

Shinnosuke Hikino, Sakura Takahashi, Yuta Shoji, Natsuki Kashiwaya,  
Syunsuke Takashima, Shinji Kousaka, Hiroki Hiratsuka, Toru Murakami,  
Wataru Sasaki, Ryuichi Ito\*, Tadashi Harada\*, Shigeru Miyagata\*  
Division of Blood Purification and Department of Urology\*  
Nakadori General Hospital

### <緒言>

当院では患者参加型避難訓練を行っていたが、2年前に新病院へ移転してから行っておらずまた、スタッフの半数が入れ替わっている。そこで目標である患者参加型避難訓練実施への最初の課題として、スタッフの災害対応をもう一度確認する必要があると考えた。

### <対象と方法>

血液浄化療法部のスタッフ23名（内訳：看護師12名、臨床工学技士9名、看護助手1名、事務1名）

#### 1. 災害マニュアルの見直し、改訂

- ・透析室災害マニュアル
- ・患者用災害対策パンフレット
- ・避難経路
- ・透析室アクションカード（災害時行動様式）

これらを新病院用に見直し、改訂を行った。

具体的な内容として、患者用災害対策パンフレットの中に入っている避難経路を、新病院用に実際の写真を載せ、わかりやすいように変更した。

また、透析室アクションカードとは災害時、行動の指標となるカードである。使用方法としては首から下げ、アクションカードの内容を確認しながら行動する。アクションカードには、マニュアルに順じて個々の役割が具体的に記載されている。

#### 2. スタッフ教育

- ・エアーストレッチャー(空気応用担架)

患者を搬送するとき使用する物をエアーストレッチャーという。エアーストレッチャーの操作

DVDを見てもらい、操作方法や注意点を説明し、その後指導しながら実践を行った。



図1 エアーストレッチャー

・バッテリー運転

バッテリー運転は臨床工学技士が普段からメンテナンスで確認しておりまた、理解度が少数であった看護師に対して講義を行い実際に操作してもらった。

・バッテリー運転マニュアル

当院では3社12機種のコンソールがあり、停電時のバッテリー運転操作がそれぞれ異なる。今回、以前からのマニュアルを機種によって異なる注意点などをわかりやすく改訂した。

DBG-02,DCG-02,DCS-27(日機装)

バッテリー運転 手動運転

- ・ 停電時、DCS-27 はアラームが鳴り、消音するためには主電源の「切」を3秒長押しする。(ブザー停ではダメ) 02 は後ろにある主電源をOFFにする。
- ・ 停電時、自動でバッテリー運転に切り替わらないため、コンソールの後ろにある「血液ポンプ(BP)電池運転」のスイッチを引っぱりながら「入」にする。



- ・ コンソール向かって右側にある「血液ポンプ(BP)電池運転流量設定」のつまみを回し血液ポンプを回転させる。

※監視装置は動かないため  
返血時エアの混入等に注意すること!!



図2 バッテリー運転マニュアル

- ・災害対策学習会

災害対策学習会では災害マニュアル、避難経路などの項目をまとめ学習会を行い、スタッフ全員の理解度を上げた。

- ・避難訓練シミュレーション

スタッフ教育で災害対応の知識をつけてもらい、その後配役を決めスタッフのみで避難訓練のシミュレーションを行った。

<結果>

エアーストレッチャーの使用方法が分かりますか？という質問に対してスタッフ教育後は、ほとんどの人が理解している結果となった。

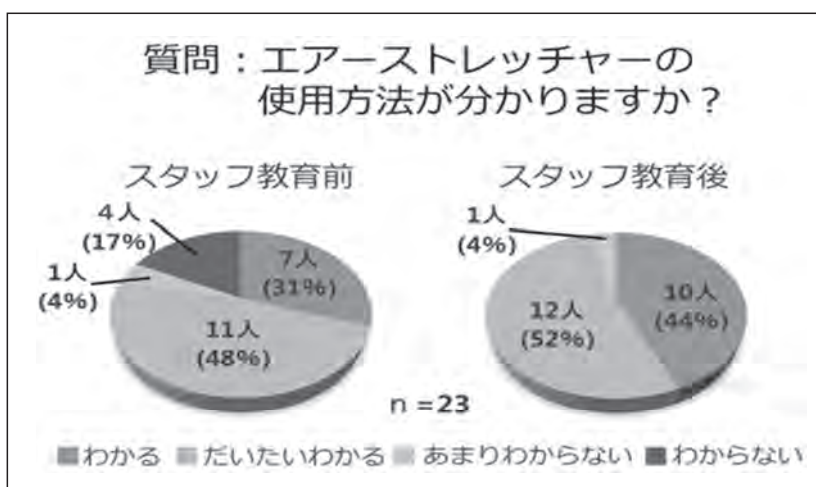


図3 エアーストレッチャー使用方法

停電時、機械操作の方法が分かりますか？という質問に対してスタッフ教育後は、9割の人が理解している結果となった。ただし看護助手、事務職員は停電時に機械操作を行わないためアンケートを行わなかった。

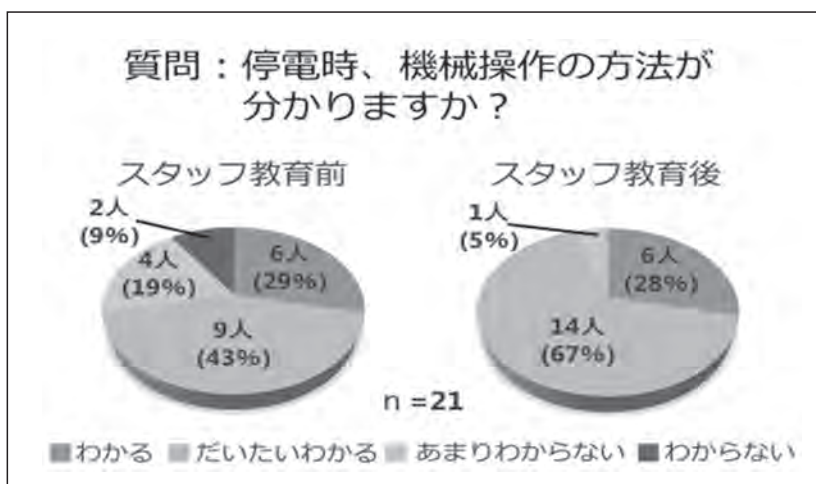


図4 停電時、機械操作の方法

災害マニュアルの内容が分かりますか？という質問に対してスタッフ教育後は、8割以上の人が理解している結果となった。

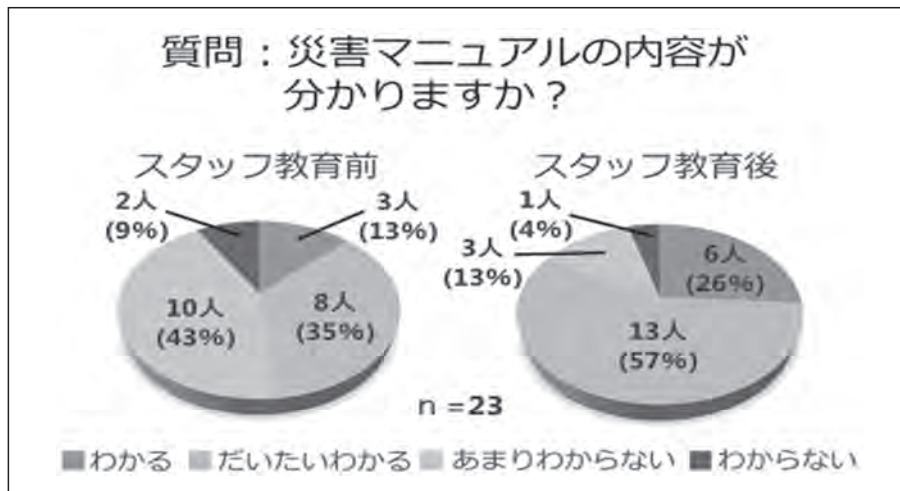


図5 災害マニュアルの内容

避難経路が分かりますか？という質問に対してスタッフ教育後は、スタッフ全員が理解している結果となった。

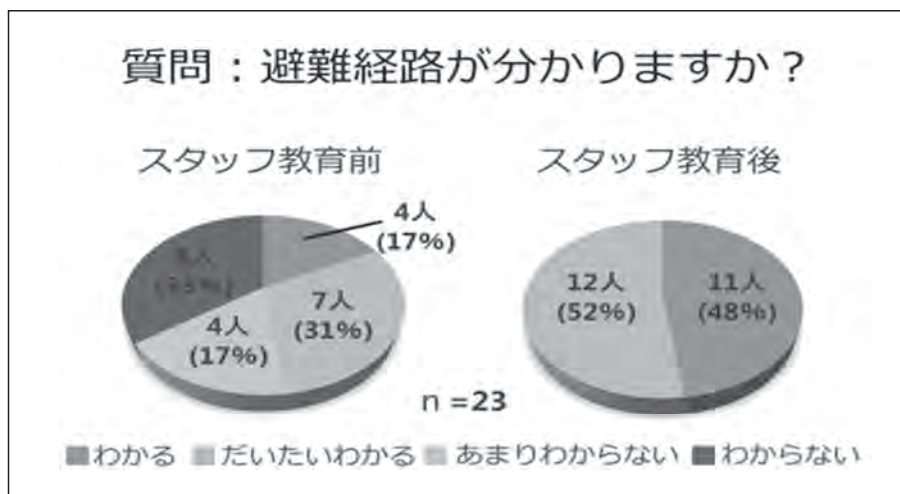


図6 避難経路

### <考察>

今後、マニュアルなどを定期的に見直し、改訂していく必要があると思われる。

以前より災害対応について学習会を行っていたが、今回マニュアルの見直し、改訂や改訂したところの学習会を行うことによって、より理解を深めることができた。

意識調査より「繰り返し行わないと覚えられない」などの意見が聞かれたため、継続的に学習会を行う必要がある。

### <結語>

今後さらに災害対応についてスタッフ間で理解を深め、患者参加型避難訓練を実行していきたい。